

# 麻しん風しん混合ワクチンの受け方

～予防接種を受ける方は、必ず事前にお読みください。～

別紙の予診票に署名するに当たっては、接種することを判断する際に、疑問等があれば、あらかじめ、かかりつけ医や保健所、福智町役場健康子育て支援課健康係に確認して、十分納得したうえで、接種することを決めてから、署名してください。

## 1 予防接種の効果と副反応について

風しんの第5期の定期予防接種では、原則、麻しん風しん混合（MR）ワクチンを使用します。予防接種を受けた方のうち、95%以上が免疫を獲得することができます。体内に免疫ができると、麻しんや風しんにかかることを防ぐことができます。ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。予防接種後にみられる反応としては、下記のとおりです。

### 麻しん風しん混合ワクチンの主な副反応

主な副反応は、発熱(接種した者のうち20%程度)や、発しん(接種した者のうち10%程度)です。これらの症状は、接種後5～14日の間に多く見られます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発しん、かゆみなどがみられることがあります。これらの症状は通常1～3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤、腫れ、しこり、リンパ節の腫れ等がみられることがあります。いずれも一過性で通常数日に消失します。

まれに生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難等）、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎及びけいれん等が報告されています。

## 2 予防接種健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。ただし、国の審査会にて審議し、その健康被害が予防接種によるものと認定されることが必要です。

## 3 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ その他、医師が不適當な状態と判断した場合

## 4 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特に体調に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や過度の飲酒は避けましょう。
- ⑤ 他の予防接種を受ける場合は27日以上あけてください。
- ⑥ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。